

## 人・産業・環境共生 新たな科学創造へ

### 福島大理工学類の大学院構想まとまる

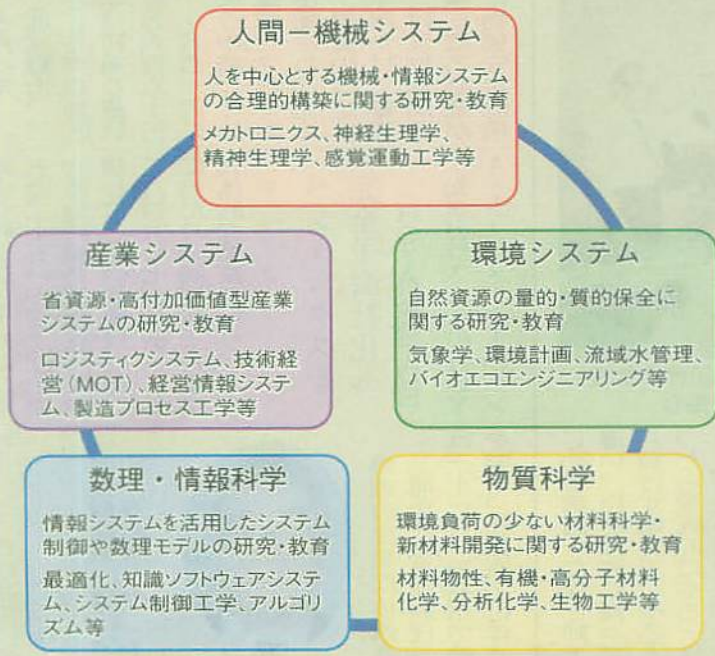
福島大（今野順夫学長）が来年四月に開設を予定している共生システム理工学類の大学院博士前期課程（修士課程相当）の構想案が三十一日、明らかになった。構想案によると、大学院は「人・産業・環境の共生をはかる新たなシステム科学の創造」がテーマで、研究、教育活動の柱となる学問分野は「人間・機械システム」「産業

大は今年二月九日をめぐり文部科学省の国立大学法人支援課に構想案を中心とした「設置審査書類」を提出する。早ければ十月、遅くとも十一月下旬までには開設が認められる見通し。同学類の大学院開設により、四学類すべてで大学院が設けられることとなり、総合大学としての研究、教育活動の充実に向けた環境が整う。

## 来春開設へ月内申請

### 5分野が柱 総合大へ体制整う

#### 福島大共生システム理工学類大学院構想案



五分野のうちの「人間・機械システム」は、機械や情報システムを中心とした研究が主で、神経生理学や感覚運動工学などの科目を設ける。省資源や高付加価値型産業の研究に取り組み「産業システム」は経営情報や製造プロセス工学など、自然資源の量的・質的保全を目的とした「環境システム」には気象学やバイオエコエンジニアリングなどの科目を整備する。「数理・情報科学」は情報システムを活用したシステム制御、「物質科学」は新材料の開発に関する研究にそれぞれ取り組む。

成十六年度に実施した全学再編に伴って創設。当初、大学院は一期生が卒業する〇九年四月の開設を目指してきたが、就職や進学など学生の選択肢を広げるため、一期生が四年生となる来年四月に前倒しした。総定員は六十人で、同学類の教授、准教授五十三人が担当する。同大は大学院開設の認可が下り次第、大学院生の募集を始める方針で、来年度二月に入學試験を実施する。大学院の一期生は県内外のほかの大学の学生や社会人、留学生らを見込んでおり、来年度中にも文科省の大学院設置を検討している。

理工学類は二〇〇四（平）同大は後期課程（博士課

システム」「環境システム」「数理・情報科学」「物質科学」の五分野となる。同